

全国福祉用具専門相談員協会がホームページを開設！ 入会申し込みを受け付け中

今年七月に設立された福祉用具専門相談員の職能団体「全国福祉用具専門相談員協会」が、九月十日、第一回理事會を東京のホテルオークラ東京において開催しました。設立以降、入会についての多くの問い合わせや応募があったため、早急に組織整備や事業の具体化を検討するために開催されたものです。九月十四日には、理事会開催の報告とこれまでの活動状況が報道関係者に発表されました。同日にホームページが開設され、九月二十七日から本格的な運用に入っています。



全国福祉用具専門相談員協会の山下一平会長と畔上加代子副会長。

同サイトには協会の設立趣意書、役員名簿、発起人名簿、事業内容、入会申し込み方法などが掲載されています。事業内容として、職業倫理の確立と法令遵守の推進、福祉用具専門相談員への研修事業、会員向けホームページの立ち上げ、会員向けメールマガジンの配信、厚生労働省や地方自治体、保険者等への提言および連携、関係者との連携、福祉用具貸与サービスの普及・啓発事業を進めていく予定。

山下一平会長は活動開始にあたり、次のように語られました。

「福祉用具専門相談員は仕事の重要さからいって、もつと評価されているのではないかと思います。用具を運んでくれるだけで、それを福祉用具の貸与事業だと思っている専門相談員もいるかもしれませんが、専門技術を磨いて利用者に合った福祉用具を提供したいという思いで仕事をしている人も多いわけです。そういう人たちにとっては協会に期待する部分が多いと思う。だから、一日も早く立ち上げて、そういう人たちの力になっていきたい」

協会の立ち上げにあたって、山下会長がとりわけ腐心されたのは、会員の職業倫理の確立でした。

「入会希望者には必ず誓約書を書いてもらうようにしたいと考えています。同居老人のお宅にお伺いする機会も多く、福祉用具専門員には高い倫理観が不可欠です。働く人たちの中にそういった意識を根付かせることが必要です。他の介護サービスに比べ民間事業者の割合が高く、誤解を招きやすい社会的状況があるわけですから、そうしたものがあってもいいと思います。ゆくゆくは倫理綱領も作ります」

研修については、積極的な展開を考慮しておられるようです。

「福祉用具専門相談員や協会にとってプラスになるようなものであれば、受け入れていく」とのこと。

既に国際医療福祉大学の大学院公開講座に協力されており、「役に立つ福祉用具の今日・明日・未来」という三カ月のコースで受講料が三万円のところ、協会会員

に限り二万円になるそうです。

入会の申し込みは協会のホームページから可能。まずはインターネットでアクセスしてみてくださいいかがでしょうか。

全国福祉用具専門相談員協会
〒一〇八〇〇七四 東京都港区高輪
三ー一九ー二〇 高輪OSビル九階
電話・〇三ー三四四三ー〇〇一
FAX・〇三ー三四四三ー八八〇〇
ホームページ <http://www.zfssk.com>

全国福祉用具専門相談員協会
〒108-0074 東京都港区高輪3-19-20 高輪OSビル9F
Tel: 03-3443-0011 Fax: 03-3443-8800
メールアドレス: info@zfssk.com

全国福祉用具専門相談員協会のホームページのトップページ画面。